

全森建

第158号

令和2年8月7日

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
永田町ビル4階

一般社団法人
全国森林土木建設業協会

発行責任者 川野康朗
TEL.03-3581-3336
FAX.03-3581-3341



数馬峡橋から梅雨の白丸湖と青梅線鉄橋を望む（奥多摩町）
【写真提供：東京都森林土木建設業協会】

令和2年度
「全森建」定時総会を
書面決議により開催

6月17日に予定されていた全森建の令和2年度の定時総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面決議により開催され、「令和元年度決算について」、「令和2年度会費の賦課及び納入の方法について」、「決議について」及び「役員選任について」が原案どおり承認、決議されました。また、令和元年度第4回理事会で承認された「令和2年度事業計画及び収支予算」について報告されました。

ご挨拶

一般社団法人

全国森林土木建設業協会

会長 嶋崎勝昭

令和2年度定時総会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。平素は、会員の皆様には、「全森建」の活動・運営にあたり、格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度の定時総会につきましては、先般お知らせしましたように、新型コロナウイルス感染症拡大に關する諸情勢に鑑み、やむを得ず開催を中止することといたしました。定時総会及び同時に開催している役員会は、全森建の1年間の活動報告・決算等をご承認いただくとともに、協会活動の基本方針等を決定する重要な会議と位置づけておりますが、今年度は全ての手続きを書面決議により行うこととしたところでございますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、例年この総会に先立ち、森林土木事業において功績のあった方々を表彰する式典を挙行しておりますが、本年は林野庁長官表彰状・会長表彰状の送付をもちまして授与式に替えさせていただきますと考えております。この場をお借りして、受賞された皆様に心からお祝い申し上げますとともに深く敬意を表する次第です。今後益々のご活躍・ご精励をご祈念申し上げます。

さて、近年、全国各地で甚大な自然災害が毎年のように発生しています。昨年も、相次ぎ襲来した台風等により多くの浸水被害や山腹崩壊、林道被害等が発生しました。被災された皆様に心からお見

舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願いたします。同時に、復旧作業に尽力されている多くの会員の皆様に敬意を表します。

このような中、我が国において1月に発生した新型コロナウイルス感染症は、現在、その世界的拡大により、多くの人命のみならず日常生活や産業経済活動を喪失させ、リーマンショックを上回る深刻な経済不況の様相を呈し、地球的規模で人類を脅かしています。

今後、現在の状況が長期化するのと、間もなく発注が本格化する森林土木工事においても、感染者の発生による工事中断、また、感染者が出ない現場においても現場技術者・作業員等の不足、さらには、物流の停滞等による資材等入手困難、発注者の監督・連絡調整不足等が想定されています。

これらを踏まえ、4月、5月に、林野庁、関係国会議員に対して、当初予算の早期執行、補正予算編成等を要望して参りましたが、今回ご提案しております第3号議案「決議について」においても、早期発注、かかり増し経費の補正対応等を盛り込んでおります。今般皆様方のご意見を伺いながら、この「要望書」を速やかに関係部署に要

請したいと考えています。

これから前線等に伴う集中豪雨の発生時期にさしかかりますので、災害の早期復旧はもとより、最終年度となる「国土強靱化3カ年緊急対策」等山地災害防止対策を速やかに執行し、今後想定される激甚な自然災害に備えることが喫緊の課題となっておりますと考えています。

一方、昨年度導入された森林環境譲与税や新たな森林経営管理制度の創設の下、林業成長産業化を推進していくためには、機械化による安定的な木材供給のための大型車両が通行可能な幹線林道の整備を加速化するとともに、既存的林道施設を災害に強い林道に改良整備し有効活用していくことが重要課題とされています。

したがって、今般の3カ年間の緊急森林対策の終了後も、将来を見据え、林野公共予算の増額確保につきまして、計画的・継続的にお願いしたいと考えています。

現在、建設業界においては、中長期的な担い手の確保・育成のため、週休2日の実現を目標として掲げ「働き方改革」と「生産性向上」の取組が進められています。人手不足の中、長時間労働を是正していくのは並大抵のことではあり

ません。週休2日に係る補正係数の見直しはもとより、「適正な工期設定」「発注・施工時期の平準化」等大きな課題が山積しています。

森林土木の現場は「平場」と比べ厳しい条件が多く若者からも敬遠されがちですので、発注者・受注者の両者が連携してこの難題に取り組んでいく必要があります。今年度は、『若者が参入したくなる森林土木事業』の実現のため、『適正な利潤の上がる森林土木』を目標に掲げ、厳しい現場条件を反映した設計積算・歩掛、諸経費率等の抜本的な改正・見直しを基本とし、支障木処理等の受注者負担をなくすことなども含めた取組を強化したいと考えています。

森林土木事業を取り巻く諸情勢が依然として厳しい中であって、皆様の協会も運営状況が厳しいことと思いますが、全国の会員の皆様と連携しながら、この難局を乗り切っていきたいと考えています。今回お送りいたしました書面決議につきましては、令和元年度事業報告・決算関係、また令和2年度会費納入、役員選任等についてご審議をお願いしたいと考えています。この役員選任の関係ですが、皆様に7年間にわたりお世話になりました高畑専務理事が退任し、

その後任として林野庁治山課長経験者の川野氏を理事候補者として提案しておりますのでよろしくお願いたします。

結びに、全国36協(議)会会員並びに傘下の会員企業の皆様のご健勝ご発展をお祈り申し上げます。定時総会にあたってのご挨拶といたします。

令和2年度「全森建」表彰受賞者の決定

令和2年度の「全森建」表彰の受賞者は、永年にわたり森林土木事業の発展等に功績のあった次の皆様に対し、「林野庁長官表彰状」及

び「全森建会長表彰状」がそれぞれ授与されました。皆様方のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、さらなるご活躍を祈念いたします。

I 林野庁長官表彰受賞者

氏名	所属協(議)会
鳴海 伸明	(一社)岐阜県建設業協会 林政部会
土井 建	熊本県森林土木建設協会

II 全森建会長表彰受賞者

氏名	所属協(議)会
石川 俊幸	福島県森林土木建設業協会
上川 道男	石川県森林土木協会
三宅 雅己	岡山県森林土木建設協会
上田 久志	岡山県森林土木建設協会
原 亨	岡山県森林土木建設協会

III 全森建会長表彰受賞者(労働安全部門)

1 団体の部

団体名	代表者氏名	所属協(議)会
堀江工業株式会社	代表取締役社長 長谷川浩一	福島県森林土木建設業協会
勝野建設株式会社	代表取締役社長 勝野 政和	群馬県森林土木建設協会

2 事業場の部

事業場名	代表者氏名	所属協(議)会
株式会社三喜工業	代表取締役 寺田 智信	長崎県森林土木建設業協会

3 個人の部

氏名	勤務先・職名等	所属協(議)会
渡辺 正美	(株)渡辺組 代表取締役	(一社)山梨県建設業協会林務部会

令和2年度 主要事業計画

1 林野公共事業関連団体との連携強化

国民生活の安全・安心を守るとともに地球温暖化防止対策にも寄与する森林の保全・整備を推進するため、林野公共事業の拡充・強化及び農山漁村地域の活性化につ

2 協会活動計画

「全森建」活動に当たっては、公益目的支出計画実施事業の遂行を念頭に置きつつ、経費の節減と効率的な事業運営を図るとともに、各協(議)会の厳しい運営状況に配慮した活動計画を策定する。

ながる予算を確保するため、林野公共事業関連団体との連携を強化しつつ一体的な運動を展開していくこととする。

(1) 定時総会

「全森建」の活動方針等を決定するため、6月、東京都内で開催する。

(2) 正・副会長会議及び理事会

「全森建」の円滑な運営と活動方針等を討議するため、東京都内で原則2回（6月・1月）開催する。

(3) 常勤役員・事務局長等会議

協会活動を円滑に実施していくための情報交換に努めることとし、原則として、1月の「正・副会長会議及び理事会」の翌日に開催する。

(4) 技術・労働委員会

技術・労働委員会においては、森林土木事業の適正な施工の確保や工事の品質確保、また働き方改革を通じて担い手の確保に資するよう、適正な工期設定、施工時期の平準化等のあり方や森林土木事業における効率的・効果的な事業執行、また、ITの活用、提出書類の削減等による生産性向上、実態に即し適正な利潤が確保される設計・積算等、さらに「森林分野CPD」を中心とする技術力向上支援のあり

方等について調査・検討する。

また、重大災害の発生を踏まえ、労働安全・福祉対策、労働環境改善対策等の調査・検討を進めるとともに、担い手の育成・確保等の諸問題について調査・検討を行う。

委員会の開催は、基本的に東京都内で年1回、11月頃の開催とするが、各協（議）会における各都道府県との意見交換等に基づき、改善に向けた情報交換等を積極的に行うこととする。

(5) 「全森建」福祉共済制度の運営

「全森建」福祉共済制度は、平成7年に創設以来、労働災害時等における負担軽減を図るとともに「全森建」会員の絆を深めるために保険内容の充実に努めてきたところであるが、加入者の減少傾向が続く中、加入促進を図るため、今後とも各協（議）会及び引受保険会社の協力も得ながら、魅力ある制度として充実していくための検討を行うとともに、さらなる普及・啓発を図る。

(6) 「全森建」研修（公益目的支出計画実施事業）

森林土木総合技術研修を中央

研修として企画・実施するとともに、各協（議）会が実施する各種研修等への講師斡旋及び経費の一部を助成する。

なお、森林土木総合技術研修については森林分野CPD認定機関（JAFEE）に登録した上で実施するとともに、各協（議）会の実施する各種研修等においてもその促進を図る。

(7) 表彰について

森林土木業界の発展、技術の向上、労働安全、経営基盤の強化等に尽力された方々について、表彰候補者の審査、表彰行事の開催等を行う。

(8) 広報・普及啓発活動

① 情報提供の中心となる会報の発行は引き続き季刊（4、7、10、1月）とし、森林土木事業関係に係る予算・税制関係、労働災害防止、技術向上等に関する情報はじめ、森林・林業・木材産業等に関する広範な情報、また「地方協（議）会だより」欄による各協（議）会の活動状況や入札制度など、各協（議）会活動に資する幅広い情報の相互伝達を図ることとする。

これらのうち、緊要な中央情報等についてはメール等により迅速な提供に努めるとともに、「全森建」、各協（議）会等の活動紹介や、担い手の参入につながる魅力ある産業となるように、森林土木事業の社会的重要性等をPRする媒体としてホームページの一層の活用を図ることとする。

② 地方協（議）会総会、ブロック会議等に積極的に参加し、地域の諸情勢の把握、情報交換等により、各種施策への反映に努めることとする。

③ 森林土木事業における重大災害の発生状況を踏まえ、労働災害発生事例等災害防止関係情報の収集・提供に努め、森林土木事業における災害の未然防止に努めることとする。

(9) 労働安全ポスター等の制作・配布（公益目的支出計画実施事業）

森林土木事業に係る労働安全意識の高揚やその意義を広く国民に普及啓発するためポスターの制作・配布を行う。

(10) その他の活動

① 間伐・路網整備を中心とす

(一社)全国森林土木建設業協会 新役員名簿

令和2年6月17日

役職	氏名	所属協(議)会
会長	嶋崎 勝昭	(一社)高知県森林土木協会
副会長	幌村 司	(一社)北海道森林土木建設業協会
〃	山藤 浩一	群馬県森林土木建設協会
〃	猪俣 茂	(一社)新潟県建設業協会 農地農林委員会
〃	西 覺嗣	三重県森林土木建設協会
〃	秋山 智洋	山口県森林土木建設協会
〃	竹尾 通洋	宮崎県森林土木協会
理事	村岡 淑郎	秋田県森林土木建設業協議会
〃	菅家 洋一	福島県森林土木建設業協会
〃	山口 敬善	埼玉県森林土木建設業協会
〃	榎森 厚志	東京都森林土木建設業協会
〃	高尾 道明	(一社)富山県建設業協会 林務委員会
〃	鳴海 伸明	(一社)岐阜県建設業協会 林政部会
〃	海邊 俊行	和歌山県林業土木振興協議会
〃	田村 和広	岡山県森林土木建設協会
〃	牟田 正明	佐賀県治山林道協会
〃	川平 賀継	沖縄県森林土木協議会
〃	津元 頼光	(一社)日本治山治水協会
専務理事	川野 康朗	(一社)全国森林土木建設業協会
監事	野澤 孝之	(一社)山梨県建設業協会 林務部会
〃	林 登良夫	石川県森林土木協会
〃	植崎 茂	税理士

定時総会開催後の6月22日、全
森建の前・高畑専務理事が林野庁
幹部及び関係国会議員を訪れ、総
会で決議された要望書を手渡し、
①災害復旧等森林土木事業の早期
執行、②集中豪雨等災害に対応し
た林野公共事業関係補正予算の編

国会・林野庁に
要望書を提出

- ② 会員の労働安全の確保及び
施工技術向上のため、労働災
害防止事例、森林土木技術等
の普及を図る。
- ③ インフラ施設の維持管理の
様々な取組に対する公募・表
彰等について、種々の機会を
捉えて、各協(議)会への情報
提供により応募活動を促進す
る。

成、③「国土強靱化3カ年対策」
の後継事業の計画的・安定的確保、
④森林土木事業の厳しい施工実態
に即した設計・積算等による適正
な利潤の確保など、6項目につい
て要望活動を行いました。

◎ 要望書

私共、全国森林土木建設業協会
は令和2年度定時総会に際し、新
型コロナウイルス感染症が世界中
で猛威を振るい我が国の社会経済
にも大きな影響を及ぼす中ではあ
るが、国土の保全や林業生産基盤
の重要性に鑑み、その整備に大き
な役割を果たしている森林土木事
業を促進するとともに、森林土木
工事の品質確保とその担い手の確
保を図るため、次のとおり決議い
たしました。

つきましては、この決議の実現
に向け特段のご配慮を賜りますよ
う、ここに強く要望いたします。

令和2年6月17日

一般社団法人

全国森林土木建設業協会

会長 嶋崎 勝昭

決議

東日本大震災や熊本地震、北海道胆振東部地震など未曾有の地震災害あるいは平成三十年七月豪雨や令和元年東日本台風等近年全国各地で多発している台風、前線等に伴う集中豪雨等による大規模な山腹崩壊等激甚な自然災害からの復旧・復興が急務とされている。また、新型コロナウイルス感染症拡大は、多くの人命のみならず日常生活や産業経済活動を消失させ、リーマンショックを上回る深刻な世界的経済危機の様相を呈するなど地球規模で人類を脅かしている。

このような中、これまで発生した災害の早期復旧はもとより、「国土強靱化3カ年緊急対策」等の速やかな執行により、今後集中豪雨等により発生が想定される激甚な自然災害に備えることが喫緊の課題となっている。

このため、山地防災力の強化に向けた災害に強い森林づくり、津波に強い海岸防災林の整備等の総合的な治山対策により地域の安全・安心を図る「緑の国土強靱化」を強力に推進することが求められ

ている。

また、我が国の林業生産活動は、路網整備等生産基盤の立ち遅れなどにより長期にわたり停滞するとともに、それを支える山村地域も過疎化・高齢化により厳しい状況にあり、国土保全、地球温暖化防止、木材生産等森林の多面的機能の十全な発揮が懸念されている。

このため、新たな森林管理システムが導入される地域を中心に、幹線林道等路網整備を推進し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の実現を図ることが重要な課題となっている。

また、これらの施策を着実に進めるためには、事業の担い手である地域の企業の事業継続が確保され、人材の確保育成を通じた企業育成につながるものが課題となっている。

さらには、「三つの密」の回避等業界のガイドラインに沿った新型コロナウイルス対策の徹底が、事業継続に欠かせないものとなっている。

これらの課題に対応し施策を着実に推進するため、次の事項の実現を強く要望する。

記

一 災害復旧、事前防災・減災対

策等森林土木事業の早期執行

二 集中豪雨等災害に対応した、治山・林道対策を柱とする森林の緊急対策を内容とする林野公共事業関係補正予算の編成

三 「国土強靱化3カ年対策」後の継続した対策の実施による治山・林道等林野公共事業の計画的・安定的確保

四 地域の企業が持続的に事業の担い手となれるよう、事業の設計・積算、発注等において次の各事項を盛り込むこと

(一) 森林土木事業の厳しい施工実態に即した設計・積算等による適正な利潤の確保

(二) 週休二日の実現に向けた就業環境整備として、生産性の向上を始め、適正な工期設定・工程の共同管理、施工時期の平準化、適切な設計変更等に関する受発注者の連携・取組強化

(三) 支障木の伐採・搬出等、その処理の適正な実施による森林土木工事の円滑な実施

(四) 総合評価落札方式等において災害防止協定、森林分野CPD等を資格要件等とし

て評価

(五) 森林土木事業における女性技術者・技能者の進出・活躍が可能となる環境の創出

(六) リスクアセスメントの普及定着等による重大災害の絶滅等安全衛生の確保と福祉の向上

五 新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費の計上

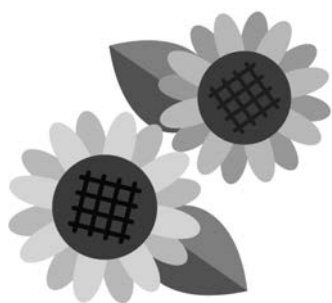
六 森林土木の現場へのICT技術の導入加速化

右決議する

令和二年六月十七日

一般社団法人

全国森林土木建設業協会



骨太方針2020 が閣議決定される

2021年度予算の編成の指針となる「経済財政運営と改革の基本方針2020」7月17日に閣議決定され、森林整備・治山事業促進議員連盟の先生方の力強いご支援もあり、国土強靱化における重点的な取り組みとして、森林整備・治山対策が新たに盛り込まれました。また、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の実施後も国土強靱化の取組の加速化・深化を図りながら、中長期的視点に立って計画的に取り組むため、必要・十分な予算を確保し、災害に屈しない国土づくりを進める旨記載されたところです。

さらに、農林水産業の活性化として、農林水産業の成長産業化、森林資源の適切な管理、建築物等への木材の利用拡大などが記載されています。



治山技術基準 「山地治山編」と 林道規程の改正

治山事業の調査、計画及び設計にあたっての技術上の基本的な考え方を示した「治山技術基準」(林野庁長官通知)について、近年の異常な豪雨等による山地災害の多発に対して、特に土石流・流木対策を中心に改正が行われました。

具体的には、土石流の発生・衝撃を考慮した治山ダムの天端厚の確保、袖部の補強、流木対策としての流木捕捉式治山ダムの選定、UAV等新たな調査機器の開発を踏まえた調査・測量手法などが新たに加わりました。詳細は林野庁のホームページ https://www.rinyamati.go.jp/j/sekou/kizyun/gijutu_kijun.html に掲載されています。

また、林道については、林道の管理と構造に関する基本的事項を定めた林道規程(林野庁長官通知)について、原木輸送量や運送する丸太の径級の増大、ドライバーの不足、これに対応するセミトレーラー等大型車両による輸送効率の向上、林道整

備に対する林道利用者等の意見、あるいは近年の集中豪雨の頻発に伴う林道被害の拡大等を踏まえ、より効率的に木材輸送が行えるもの、安心・安全な利用に配慮したもの、また被災しにくい林道の構築につながるものとなるよう、林道の設計車両、縦断勾配、路肩・路面・排水施設の構造等が見直されました。林道規程の改正の概要については、林野庁のホームページ <https://www.rinyamati.go.jp/j/seibi/sagyoudo/romoususin.html> (今後の路網整備のあり方検討会)の第2回検討会の資料3に、また、改正後の林道規程及び林道規程の運用細則については、<https://www.rinyamati.go.jp/j/seibi/sagyoudo/attach/pdf/romoususin-11.pdf> に掲載されています。なお、林道規程の改正を踏まえた林道の調査・設計・施工関係については、今後、さらに林道の技術基準の改正等により対応がなされる予定です。



【就任のご挨拶】

「全森建」専務理事

川野 康朗

去る6月17日に開催された令和2年度定時総会(書面決議)において、高畑専務理事の後任とし選任され、当協会にお世話になることになりました。

今年の骨太方針では、林野庁のご尽力と、森林整備・治山事業促進議員連盟の先生方の力強いご支援により、国土強靱化に係る施策の柱の一つとして、森林整備・治山対策が明記され、今後の安定的な予算確保や事業の推進に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。一方、当協会の会員の皆様を引き続き地域の安全・安心を支えるこれら事業を担っていただくためには、森林土木事業の受注にあたっての適正な利潤の確保が必要であることは言うまでもありません。

私も微力ながら、会員の皆様の発展を通じた森林の整備・保全による緑の国土強靱化及び林業の成長産業化が着実に進められますよう取り組んで参る所存ですので、

皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

「全森建」事務局長 退任・新任

「大変お世話になりました。」

前事務局長 竹中 三成



「よろしくお願ひします。」

新事務局長 塩永 博信

林野庁幹部人事異動

次のとおり異動がありました。

令和 2 年 7 月 3 日及び 4 日付

◎森林管理局関係

◇退職

齋藤 伸郎

(関東森林管理局局長)

◇大臣官房付・関東森林管理局局長

上大田 光成

(独立行政法人水資源機構首席審議役)

令和 2 年 8 月 1 日付

◎森林管理局関係

◇退職

長田 朋二

(近畿中国森林管理局局長)

◇近畿中国森林管理局局長

山口 琢磨

(大臣官房付兼水産庁漁政部付(企画課配置))

令和 2 年 8 月 3 日付

◎林野庁関係

◇食料産業局局長

太田 豊彦

(林野庁次長)

◇林野庁次長

浅川 京子

(大臣官房総括審議官)

◇国土交通省大臣官房審議官

黒川 淳一

(林野庁林政部林政課長)

◇林野庁林政部林政課長

永井 春信

(大臣官房付兼内閣官房内閣参事官)

官)

◇内閣官房内閣参事官(内閣人事局)

鳥海 貴之

(林野庁国有林野部管理課長)

◇林野庁国有林野部管理課長

田中晋太郎

(林野庁国有林野部付)

◇大臣官房広報評価課長

常葉 光郎

(林野庁林政部経営課長)

◇林野庁林政部経営課長

上杉 和貴

(生産局農産部穀物課水田農業対策室長)

策室長)

これからの行事予定

(今後変更等があり得ます。)

○11月18日

治山・林道のつどい

(東京都千代田区)

「全森建」技術・労働委員会

(東京都千代田区)

○11月25日～27日

「全森建」森林土木総合技術研修

(東京都千代田区)

○ブロック会議

・10月22日～23日

① 北海道・東北(福島県)

② 中部(愛知県)

・10月29日～30日

九州(熊本県)

・11月19日～20日

関東・甲静(茨城県)

編集後記

◎表紙の写真について

白丸湖は発電用の水を確保するため、奥多摩町の多摩川上流に建設された白丸ダムによって誕生した人造湖です。周囲の山々や季節

ごとの木々の若葉、紅葉などを映し出すエメラルドグリーンの神秘的な湖で、釣りやカヤックなどのレジャーの場にもなっています。都心からでも青梅線で日帰りできる魅力的な観光スポットです。

◎2021年度予算の確保に向けて
これから骨太方針2020を踏まえた2021年度予算編成が始まりますが、森林土木事業につきまして、必要・十分な予算が確保されるよう、会員の皆様方にも引き続きご協力をお願いいたします。



白丸湖上流を望む